

第4章 重点戦略

- 1 秋田の未来につながるふるさと定着回帰戦略
- 2 社会の変革へ果敢に挑む産業振興戦略
- 3 新時代を勝ち抜く攻めの農林水産戦略
- 4 秋田の魅力が際立つ 人・もの交流拡大戦略
- 5 誰もが元気で活躍できる健康長寿・地域共生社会戦略
- 6 ふるさとの未来を拓く人づくり戦略

はじめに

「目指す将来の姿」の実現に向けて、「4つの元気」を創造していくためには、本県の先進性や優位性を最大限に活用するとともに、新たな視点を織り込みながら、今後の4年間で力を入れて取り組むべき施策・事業を明らかにし、それを計画的・重点的に推進していく必要があります。

そのため、『プラン』においては、時代の潮流をしっかりと捉えるとともに、これまでの取組の成果を踏まえながら、今後重点的に取り組むべき政策を6つの重点戦略として、総合的に取り組むこととしています。

また、人口減少に起因する労働力不足への対応に加え、女性や若者の県内定着促進の観点から、「女性や若者に魅力ある仕事の創出」、「県内産業界の即戦力となる人材の育成」、「高齢者等の就業促進による労働力の確保」、「第4次産業革命によるイノベーションの活用」の4つを重要な横断的視点として位置づけながら、施策・事業が相乗効果を十分発揮し、より大きな成果を生み出せるよう『プラン』に基づき計画的に各種施策・事業を展開していきます。

重点戦略を推進する上で重要な4つの横断的視点

（1）賃金水準の確保や就労環境の改善等による女性や若者に魅力ある仕事の創出

我が国全体の人口が減少する中、様々な分野で人手不足が顕在化している状況となっており、本県が他県との厳しい人材獲得競争に打ち勝ち、本県産業界に必要な人材を確保するためには、女性や若者に魅力ある仕事の創出が不可欠です。

そのため、女性や若者の感性が発揮できるICT産業やサービス産業の振興を図るほか、製造業・サービス産業・観光産業・福祉産業・農林水産業・建設業などあらゆる産業分野において、付加価値生産性の向上等を図ることにより賃金水準の改善を促していくことが重要です。

また、女性や若者など幅広い層が起業しやすい環境づくりに取り組んでいくことも合わせて求められています。

さらに、働きやすい環境の整備に向けて、子育てや看護・介護と仕事の両立が実現できる環境づくりなど、就労環境の改善を促していくことも大切です。

【主な取組】

① ICT産業・サービス産業等の振興やあらゆる産業分野における付加価値生産性の向上

- ・EVやPHVなど次世代自動車に関わる企業への支援（戦略2）
- ・IoT・ビッグデータ等を活用した県外や海外への商品・サービス提供などの新ビジネスの創出支援（戦略2）
- ・IoTやAI等の先進的なベンチャー企業の誘致（戦略2）
- ・アグリビジネスを通じた女性起業者が活躍できる環境づくり（戦略3）
- ・着地型旅行商品づくりを担う県内事業者の育成（戦略4）

- ・発酵食品に加え、米菓や米加工品等の新商品開発と販売促進への集中的な支援（戦略4）

② 女性や若者など幅広い層が起業しやすい環境づくり

- ・移住と起業を一体的に支援するプログラムの実施（戦略1）
- ・女性・若者起業家の事業拡大に向けた支援（戦略2）
- ・ビジネスプランの策定支援やアグリビジネスの開始に向けた実践的な個別指導（戦略3）

③ 仕事と家庭の両立が実現できる働きやすい環境の整備

- ・保育所・放課後児童クラブ等における待機児童の解消に向けた取組（戦略1）
- ・全国トップレベルの保育料助成の充実（戦略1）
- ・「あきた女性活躍・両立支援センター(仮称)」の設置による支援体制の強化（戦略1）
- ・仕事と子育ての両立支援をはじめとするワーク・ライフ・バランスを実践する企業への支援（戦略1）
- ・建設産業における女性が働きやすい現場環境の整備促進（戦略2）
- ・「働き方改革」に取り組む企業への支援（戦略2）
- ・介護事業所内保育所の運営支援（戦略5）

（2）県内高等教育機関等における県内産業界の即戦力となる人材の育成

第4次産業革命の進展等により産業構造や就業構造の変革が見込まれ、輸送機産業や新エネルギー関連産業、医療福祉関連産業、情報関連産業といった成長産業のみならず、多くの産業分野において、求められる能力やスキルに大きな変化が予測されることから、最新技術の習得や「学び直し」が重要となってきています。

こうした点を踏まえ、本県産業界が真に求める人材の育成に向けて、大学をはじめとする高等教育機関等が行う実践的な知識・技能の習得を図る取組を支援していく必要があります。

併せて、休職・離職している人などのキャリア形成や復職・再就職に向けた「学び直し」を支援するほか、所属企業や本人からの要望を踏まえた、専門的な知識や技能が習得できるリカレント教育の充実に向けて、企業や関係機関等と連携して推進していくことが求められています。

【主な取組】

① 高等教育機関等による実践的な知識・技能の習得を目指す取組

- ・航空機や自動車、新エネルギー関連など、成長分野における企業ニーズに対応した職業訓練の推進（戦略2）
- ・県内外の企業等の専門家等による講義及び技術研修の実施（戦略6）
- ・県内高等教育機関が産業界と連携して行う専門人材育成に向けた取組への支援（戦略6）

② 専門的な知識や技能を習得できるリカレント教育の充実

- ・女性の復職や個人のキャリアアップ等を支援するリカレント教育の推進（戦略2）
- ・在職者のスキルアップを目的とした職業訓練の推進と中小企業の技能労働者等を対象とした認定職業訓練に対する助成（戦略2）

（3）高齢者等の就業促進による労働力の確保

地域における労働力や担い手不足の解消に向け、女性や若者の県内への定着・回帰に加え、働く意欲のある高齢者や復職を希望する女性など、就業希望がありながら職に就いていない方々の労働参加を促していくことが必要です。

そのため、就労を希望する高齢者等が働きやすい環境づくりを進めるとともに、多様な人材が幅広く活躍するための技術や技能を身に付けることができる場を確保していくことが重要です。

【主な取組】

① 就労を希望する高齢者等が働きやすい環境づくり

- ・「働き方改革」に取り組む企業への支援（戦略2）
- ・「健康経営」の促進に向けたセミナーの開催等（戦略2）

② 幅広い技術や技能を身に付けることができる環境整備

- ・民間教育訓練機関等を活用した離転職者等に対する委託訓練の促進（戦略2）
- ・高齢者等が福祉分野で活躍できる環境づくり（戦略5）

（4）県内産業の振興や県民生活の向上等、幅広い分野における第4次産業革命によるイノベーションの活用

第4次産業革命の進展は、本県産業や県民生活を変革させる大きな可能性を有しており、従来手法では解決が難しい地域課題の克服に向け、イノベーションの活用は大きな期待ができるものとなっています。

予想を超えるスピードで進展する第4次産業革命の流れに乗り遅れることなく、イノベーションを取り込み、新たなビジネスチャンスの創出や地域課題の解決につなげていくためには、時代の変化を先取りした積極果敢な取組が必要です。

そうした時代の変化を的確に捉えながら最新のイノベーションの成果を最大限に活用し、企業の競争力強化、農林水産業分野における生産性向上や、県民生活の利便性向上を図るとともに、新たな技術の担い手となる人材の育成等を進めるなど、「未来投資型」の施策を大胆に展開し、本県の持続的な発展につなげていくことが重要です。

【主な取組】

① 企業の競争力強化

- ・生産性の向上に資するIOT、AI技術等の導入支援（戦略2）
- ・ICT建設機械等を活用した建設工事の普及促進（戦略2）
- ・IOTやAI等の先進的なベンチャー企業の誘致（戦略2）
- ・IOT、AI技術等の普及促進と先導的な研究開発の推進（戦略2）
- ・デジタルマーケティング等の手法を取り入れた情報発信の最適化と、観光客との結び付きの強化（戦略4）

② 農林水産業分野における生産性向上

- ・ドローンの活用による農薬散布や、センシングの高度化等による生育診断の実証（戦略3）
- ・パワーアシストスーツを活用した農作業の軽労化の普及（戦略3）
- ・自動操舵技術等を活用した超省力稲作経営の展開（戦略3）
- ・栽培マニュアルの徹底や、ICT等を活用した水管理の実践による品質等の向上（戦略3）
- ・「木材クラウド」による素材生産企業と木材加工企業の情報共有化（戦略3）

③ 県民生活の利便性向上

- ・ICTを活用した配車・運行システムや自動運転など、次世代交通の導入に向けた検討会等の実施（戦略4）
- ・大学、医療保険者等との連携による医療費・健診のデータの分析や研究に基づく健康づくりの推進（戦略5）
- ・地域における在宅医療提供体制の構築に向けた情報共有システムの活用による多職種連携の推進（戦略5）

④ 次世代の産業人材の育成・確保

- ・ICTに精通した専門職員の配置によるICT分野の人材確保、県内定着支援（戦略2）
- ・小学校におけるプログラミング教育の推進のための研修の実施と教育環境の整備（戦略6）
- ・専門高校における地元企業の情報技術者による授業の実施（戦略6）